

三沢市立三沢病院での内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5 年 小野未来

今回の実習では、大学では見ることができなかった上部・下部消化管内視鏡検査や胃瘻造設などを見学することができ、とても貴重な経験となりました。

内視鏡検査では、多くの症例が行われていることや先生方の手技のスピードと正確さにとても驚きました。短時間の中でも無駄のない動きで検査が進んでいく様子を見て、経験に裏付けられた技術の重要性を強く感じました。また、健診目的の検査も多く、正常の所見と食道静脈瘤や胃炎、ポリープなどの異常所見を実際に見比べることができたので、とても勉強になりました。教科書で学んだ内容が実際の画像と結びついたことで、内視鏡所見の理解がより深まったように感じます。さらに、ポリペクトミーの場面では実際に少し手技を手伝わせていただき、間近で一連の流れを見ることができたので、特に印象に残る経験となりました。

外来では、消化器疾患だけでなく肺炎や糖尿病なども含めて内科系の疾患を幅広く診療しており、先生方が一人の内科医として多くの疾患に対応していることが印象的で、臨床医としての総合力の必要性を感じました。また、紹介先の病院を決める際には、距離や診療科の体制、患者さんの生活背景なども考慮しながら選んでおり、限られた選択肢の中で最適な医療を提供することの大変さを実感しました。

病棟回診では、先生方が患者さんや看護師さんと自然に会話をしながら診療を進めていて、とても雰囲気が良いと感じました。医師とスタッフの関係が良好であることが、日々の診療のしやすさや患者さんの安心感にも繋がっているのだと思いました。実際に私が挨拶をした際も、皆さんが笑顔で返してくださり、声をかけていただくこともあり、緊張しながらも安心して実習に参加することができました。

さらに、外来や検査の場面でもその都度丁寧に説明していただき、質問にも分かりやすく答えてくださったので、とても学びの多い実習になりました。忙しい中でも教育的な時間を取っていただいたことに感謝しています。今回の実習を通して、消化器内科の診療内容だけでなく、患者さんやスタッフとの関わり方、地域医療の中での役割についても学ぶことができ、非常に充実した実習となりました。

最後になりますが、色々と指導してくださった先生方や医療スタッフの皆さんのおかげで、2週間快適な環境で多くの学びを得ることができました。貴重な実習の機会を提供していただき本当にありがとうございました。

実習期間：2026.6.22～.7.3